

授業科目名	日本語表現 (2000010)		
時間割名	日本語表現 (12204)		
時間割担当	鳥谷善史		
実施期	前期	単位数	1
曜日・時限	月・2		

■ 授業の目標・概要

留学生を対象とした科目である。「日本語」に引き続き、日本語の文章の読解力をさらに向上させ、上級レベルの日本語能力を身に付ける。大学の講義や演習で取り上げられる専門的な資料を読み、難解な日本語表現への理解力を向上させる。また、大学の講義や演習を受けるにあたって必要な話題を随時紹介し、日本の社会や経済、文化に関する情報を日本語で理解できることを目指す。

■ 学習の到達目標

大学での講義における教科書や研究論文などの論理的文章を正確に読み解く能力を養成する。専門的な論文を読み、内容の正確な理解と簡潔に要約できる技術の習得を目標とする。文章読解が中心になるが、併せて語彙や文法の知識の習得も目指す。

■ 授業方法・形式

講義を中心に一部発表形式

■ 授業計画

第1回 授業内容の説明と評価方法について
 第2回 研究書を読む1
 第3回 研究書を読む2
 第4回 研究書を読む3
 第5回 研究書を要約する1
 第6回 研究書を要約する2
 第7回 研究書を要約する3
 第8回 論文を読む1
 第9回 論文を読む2
 第10回 論文を読む3
 第11回 論文を要約し発表する1
 第12回 論文を要約し発表する2
 第13回 論文を要約し発表する3
 第14回 論文を要約し発表する4
 第15回 まとめの課題もしくは小テスト及びその解説

■ 成績評価の基準

授業に取り組む態度 40%、課題 20%、提出物 20%・試験 20%

■ 授業時間外の課題

毎回課題に関する小テストをおこなうので、予習・復習時間を十分に確保すること。

■ メッセージ

全授業回数の3分の1以上欠席した場合。または、課題を提出しなかったり、試験を受けなかった場合は、単位を認定しない。なお、遅刻は2回で1回の欠席とする。
 受講者の理解度や興味により、授業計画の一部を変更することがある

■ 教材・教科書

適宜プリントを配付。

■ 参考書

授業内で、適宜紹介する。